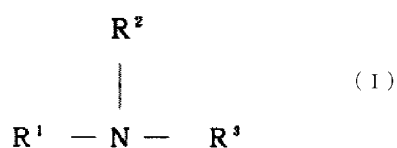


請求の範囲

- [請求項1] 海水冷却水系への海生生物及びスライムの付着防止方法であって、
一般式（１）で表される高級脂肪族第３級アミンを有する第一薬剤
と、塩素剤、臭素剤及び二酸化塩素からなる群より選択される少なく
とも一種を有する第二薬剤と、を前記海水冷却水系の海水に添加する
ことを特徴とする海生生物等の付着防止方法。

[化1]



（式（１）において、置換基 R^1 、 R^2 及び R^3 は同一又は異なっており、１つのヒドロキシ基或いはアルコキシ基で置換されていてもよい炭素数１～２８の飽和又は不飽和の脂肪族炭化水素基であり、 R^1 、 R^2 及び R^3 の全炭素数は１０～３７である。）

- [請求項2] 海水中の第一薬剤の濃度が、０．００１～０．３ｍｇ／Ｌとなるように１日あたり少なくとも１２時間、海水冷却水系の海水に第一薬剤を添加することを含む請求項１に記載の海生生物等の付着防止方法。

- [請求項3] 海水中の第二薬剤の濃度が、０．００２～３．０ｍｇ／Ｌとなるように１日当たり少なくとも１時間、海水冷却水系の海水に第二薬剤を添加することを含む請求項１又は２に記載の海生生物等の付着防止方法。

- [請求項4] 第二薬剤における塩素剤又臭素剤は、

（ａ）塩素ガス、次亜塩素酸カルシウム、次亜塩素酸ナトリウム、塩素化イソシアヌル酸、ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム、ジクロロイソシアヌル酸カリウム、モノクロロイソシアヌル酸ナトリウム、モノクロロイソシアヌル酸カリウム、トリクロロイソシアヌル酸ナトリウム及びトリクロロイソシアヌル酸カリウムの中から選択される一種以上の水中で次亜塩素酸を生成する物質、

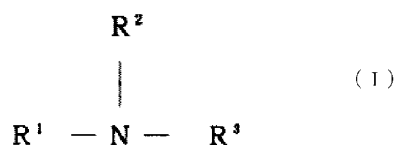
(b) 次亜臭素酸ナトリウム、臭化ナトリウムと次亜塩素酸ナトリウムとの反応物及び臭素水から選択される一種以上の水中で次亜臭素酸を生成する物質、

(c) 海水電解液、又は

(d) モノクロラミン、ジクロラミン、トリクロラミン、モノブロラミン、ジブロラミン、トリブロラミン、N-クロロスルファマート及びN-ブロモスルファマートから選択される一種以上の結合塩素または結合臭素である請求項1、2又は3に記載の海生生物等の付着防止方法。

[請求項5] 請求項1、2、3又は4に記載の海生生物等の付着防止方法に使用される海生生物等の付着防止剤であって、
塩素剤、臭素剤及び二酸化塩素からなる群から選択される少なくとも一種と、一般式(1)で表される高級脂肪族第3級アミンと、を有効成分として含有する海生生物等の付着防止剤。

[化2]

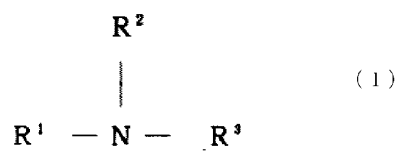


(式(1)において、置換基R¹、R²及びR³は同一又は異なっており、1つのヒドロキシ基或いはアルコキシ基で置換されていてもよい炭素数1～28の飽和又は不飽和の脂肪族炭化水素基であり、R¹、R²及びR³の全炭素数は10～37である。)

[請求項6] 請求項1、2、3又は4に記載の海生生物等の付着防止方法に使用される海生生物等の付着防止用キットであって、
一般式(1)で表される高級脂肪族第3級アミンを有する第一薬剤と、
塩素剤、臭素剤及び二酸化塩素からなる群より選択される少なくとも一種を有する第二薬剤と、

を含む海生生物等の付着防止用キット。

[化3]



(式(1)において、置換基 R^1 、 R^2 及び R^3 は同一又は異なっており、1つのヒドロキシ基或いはアルコキシ基で置換されていてもよい炭素数1～28の飽和又は不飽和の脂肪族炭化水素基であり、 R^1 、 R^2 及び R^3 の全炭素数は10～37である。)